

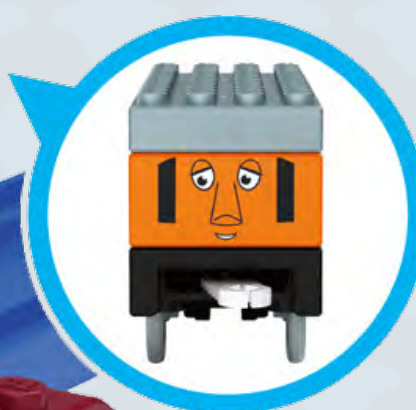
14日(土)
RELEASE



トミカ・プラレールブロック トーマスとパーティーの競走セット

初めてでも簡単で、トミカやプラレールと
いっしょに遊べる楽しいブロックが登場!
全 28 パーツのブロックを使って、
『きかんしゃトーマス』のなかまたちを
キミの手で組み立てよう!

販売価格 **3,300円**(税込)



※レールは別売りです。

トミカ・プラレールブロック パーシーの配達セット

初めてでも簡単で、トミカやプラレールと
いっしょに遊べる楽しいブロックが登場!
全 27 パーツのブロックを使って、
『きかんしゃトーマス』のなかまたちを
キミの手で組み立てよう!

販売価格 **3,300円**(税込)



※レールは別売りです。



© 2026 Gullane (Thomas) Limited.
© 2026 HIT Entertainment Limited.

21日(土)
RELEASE



※レールは別売りです。

トミカ・プラレールブロック 新幹線と電車エントリーセット

初めてでも簡単で、トミカやプラレールといっしょに遊べる楽しいブロックが登場!
全 38 パーツのブロックを使って、新幹線や通勤電車などをキミの手で組み立てよう!

販売価格 **4,950円**(税込)

JR東日本商品化許諾済
JR東海承認済
JR西日本商品化許諾済



21日(土)
RELEASE



げん さく え ほん
原作絵本のトーマスを
ひょうげん
プラレールで表現!



じょうけい
情景も付いてすぐに飾れる!

プラレールえほんトーマスの雪かきセット

『きかんしゃトーマス』の原作絵本をイメージしたトーマスがプラレールに登場!

販売価格 4,620円(税込)



げん さく え ほん
原作絵本のパーシーを
ひょうげん
プラレールで表現!

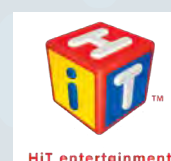


れーるも付いてすぐに飾れる!

プラレールえほんパーシーとレンガ橋セット

『きかんしゃトーマス』の原作絵本をイメージしたパーシーがプラレールに登場!

販売価格 4,620円(税込)



© 2026 Gullane (Thomas) Limited.
© 2026 HIT Entertainment Limited.

21日(土)
RELEASE



※レールは別売りです。

プラレール S-34 221系近郊電車(専用連結仕様)

221系はJR西日本が初めて設計・製造した車両で、
大和路線、奈良線、湖西線などで活躍しています。
1989年の登場から20年以上が経過した際に車両リニューアルが実施され、
前照灯のHID化や行き先表示機のカラー液晶化などがされました。

販売価格 **2,970円**(税込)
JR西日本商品化許諾済

桃太郎電鉄



桃太郎、キングボンビーの
プラキッズ2体付属

プラレール 桃太郎電鉄 SL

ゲーム『桃太郎電鉄』のSLをプラレールで再現。
SLにプラキッズ2体、リアル直線レール、ストップレール（リアルレール仕様）、
背景カード3種付属のセットです。

販売価格 **6,600円**(税込)

©さくまあきら ©Konami Digital Entertainment



21日(土)
RELEASE

PLARAIL
REAL CLASS



リアル直線レール3本同梱
すぐに飾ることが可能

プラレール リアルクラス
100系新幹線復活国鉄色(ライト付仕様)

販売価格 7,700円(税込)

JR西日本商品化許諾済



写真提供 / RGG

100系新幹線復活国鉄色 100系新幹線は、0系新幹線の後継車として国鉄時代の1985年(昭和60年)に登場しました。先頭部の先鋭的な形状は「シャークノーズ」と呼ばれ、スマートな外観により東海道・山陽新幹線の新たな顔となりました。2000年から2005年にかけて、JR西日本において延長化および車両延長工事が実施され、100系は山陽新幹線内の「こだま」用として運用されるようになります。その際、車体塗装はグレーを基調にグリーンと濃い灰色の帯を記した「フレッシュグリーン」へと変更されました。2010年には、かつての白地に青帯の国鉄時代を彷彿とさせる塗装、いわゆる「復活国鉄色」が施され、多くの鉄道ファンから注目を集めました。その後、2012年3月16日の「さよなら運転」をもって100系新幹線は営業運転を終了し、長い歴史に幕を下ろしました。2026年6月現在



リアル直線レール3本同梱
すぐに飾ることが可能

プラレール リアルクラス 113系近郊電車(阪和色)

販売価格 7,700円(税込)

JR西日本商品化許諾済



写真提供 / RGG

113系近郊電車(阪和色) 113系は1963年(昭和38年)に登場した国鉄時代を代表する近郊形電車です。1972年の阪和線への投入に際し、グレー地の車体にライトブルーの帯を纏った通称「阪和色」が登場しました。「フルライナー」の愛称でも親しまれ、約40年にわたり阪和線や紀勢本線の主役として活躍しました。2011年12月に定期運用を終了し、2012年4月1日の団体臨時列車「ありがとう113系阪和色」号をもって、その長い歴史に幕を下ろしました。2026年6月現在